

持続可能な農業・農村の実現に向けた特別決議

J Aグループは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、多面的機能を有する農業の持続的発展、安全・安心な食料の安定供給、農村社会の維持・発展など、幅広い分野における取り組みをすすめてきた。

一方、農業者の高齢化・世代交代による農業生産基盤の脆弱化がすすんでいることに加え、TPPによる我が国農業への影響に対して、生産現場には不安と懸念がある。したがって、政府には、国会審議等において、説明責任を果たすことが求められている。

加えて政府は、日EUや東アジア地域包括的経済連携などの貿易交渉もすすめている。国際化が進展するなかでも、我が国は、食料・農業・農村基本計画における食料自給率45%の政策目標を達成していかなければならない。

こうした厳しい環境のなか、消費者・国民の理解と支援のもとに持続可能な農業・農村を実現するため、組織の総力を挙げて下記の取り組みを展開していく。

記

1. 農業者の所得増大等を図るため、J Aの総合力を発揮し第29回秋田県J A大会決議を着実かつスピード感をもって実践し、組合員・消費者など地域からより信頼される組織となる。
2. 食料自給率目標の達成のため、TPP対策を含め生産現場の不安を払しょくし、将来を展望できる息の長い政策の確立を政府・与党に対して不断に求めていく。
3. 本県の「食」「農」「J A」の重要性をアピールし、県民理解を醸成する運動を展開していく。

以上、決議する。

平成28年6月29日
あきた白神農業協同組合
第18回通常総代会



←特別決議を読み上げる池端青年部長



↑永年勤続者表彰の様子

鈴木 信洋	小川 勝	五十嵐 健	勤続20年	大塚 幸也	勤続30年	○職員	工藤 忠一郎	比内地鶏部会	○部会	山崎 鉄男	伊藤 博邦	成田 正文	木村 幹	佐藤 仁	大高 和行	戸松 重千代	○永年勤続者 ○協同班長	第18回通常総代会表彰者
	佐藤 重樹	飯坂 健一		細川 剛						(二ツ井)	(二ツ井)	(二ツ井)	(のしろ北)	(のしろ北)	(のしろ北)	(のしろ東)		